

## ウルメイワシ太平洋系群の漁況予報

今後の見通し(2006(平成18)年8月～12月)

対象海域:北薩～熊野灘

対象漁業:まき網、定置網、棒受網、多鈎釣

対象魚群:2006(平成18)年級群及び2005(平成17)年級群。魚体は被鱗体長。

1. 来遊量:北薩～薩南では低調の前年を上回るが近年(過去5年)並みか近年を下回る。日向灘～豊後水道西部では前年を下回る。豊後水道東部では近年(過去5年)を上回る高水準。宿毛湾は高水準の前年並みか前年を下回る。土佐湾は前年を下回る。紀伊水道外域西部では前年を下回る。紀伊水道外域東部～熊野灘南部では前年、平年(過去10年)を下回る。熊野灘中北部では前年を下回る。
2. 漁期:土佐湾の多鈎釣は11月から。他は全期間。
3. 魚体:6～20cm(前年秋～今年生まれ)が主体。8月までは20～23cm(前年夏まで生まれ)も来遊する。

漁況の経過(2006(平成18)年1月～7月)および見通しについての説明

### 1.資源状態:

資源量の指標となる産卵量が過去20年で最多であるので、資源水準は高位、動向は最近5年の推移から増加傾向にあると考えられる。

### 2.来遊量、漁期・漁場:

北薩では今期主体となる0歳魚の来遊が低調であった。日向灘では年間の来遊量の指標となっている1月の漁獲量が前年を下回った。豊後水道西部では今期主体となる0歳魚の来遊が低調で、年後半の漁獲量と比較的高い相関が見られる5～6月の漁獲量が前年を下回った。豊後水道東部では1～6月の水揚は好漁の前年をやや下回り、平年(過去10年)、近年(過去5年)を上回った。宿毛湾の今期まき網漁獲量と相関のある3～6月の高知県定置網への0歳魚の入網は前年を下回って低調であったが、宿毛湾のまき網の1歳魚漁は近年にない好漁であった。紀伊水道内外域西部では卵採集数が前年を下回り、外域西部の6月までの漁況は低調であった。紀伊水道外域東部～熊野灘南部では黒潮が潮岬沖を接岸基調で推移して来遊条件が良いと予測されるが、今期主体となる0歳魚は棒受網漁が前年、平年(過去10年)を下回ったことから来遊が低調と考えられる。熊野灘中北部では今期主体となる0歳魚の定置網漁が前年を下回った。

2005(平成17)年7～12月の主要港水揚量は11,308トンであった。2006(平成18)年1～6月は7,555トンで前年同期の1.7倍であった(予測通り)。